

船木校区まちづくり校区懇談会 開催結果報告書

開催日時 平成29年7月5日(水) 19:00~20:30

開催場所 船木公民館 2階 会議室

司会・進行 石川連合自治会副会長

参加者数 男65人 女14人 合計79人



1. 市の重点事業について (市長)

2. 校区課題について

(1) 課題名 少子高齢化に見合った地域活動のコンパクト化について

(2) 説明者 星加連合自治会長

- ・新居浜市と船木校区の人口推移
- ・船木校区の世帯数と自治会加入世帯
- ・自治会加入率が下がる原因
- ・船木校区の地域活動の問題点
- ・船木校区のイベント内容等
- ・船木校区のイベント (検討用)

(船木住民大運動会⇒検討中、池田池をわたる風とマンドリン⇒廃止、池田池ラジオ体操とお池をかこむ会⇒抽選会取りやめ)

(3) 校区課題への質疑

○質問 (客谷団地自治会)

池田池をわたる風とマンドリンの廃止について、小中学生の吹奏学部があり、池田池で演奏する絶好の場で、発表する場を作らないと、他になかなか演奏の機会がない。そ

れをやってほしかった。船木中学校ひびき分校の和太鼓倶楽部もそうである。屋外で聴かせてほしい。来年から復活する方向でお願いしたい。

○回答 （連合自治会長）

マンドリンの廃止の件は、マンドリン倶楽部より、リハーサルから本番までの待ち時間が長いことと雨対策を検討してほしい（雨で中止にしたのは1回だけ）と要望があり、この二つをどう解決するかということで、待ち時間については順番を変えれば済むが、雨対策は予測不可能のため、そうなると小学校の体育館くらいしか他にない。ただ、学校の体育館で実施の場合、小学校の金管バンドは、いつも体育館で練習しており、池田池ですることに値打ちがあるので、池田池の方が良いということを言われ、相談、協議した結果、中止となった。

○質問 （客谷団地自治会）

是非、来年から、また、考えていただきたい。それから、自治会加入率が低下しているということについては、自治会活動というのは何であるかということである。近い将来南海大地震が予想され、震災時は、お互い近所回りは助け合い、炊き出しなども行う必要が出てくる。このとき、入っていない人は後回しにしたらいいと思う。そのような点を自治会広報として積極的に行えばと考えている。

○回答 （連合自治会長）

香川県丸亀市の川西地区では、防災意識が高まっているところがあり、倉庫等地域の備品が充実しているが、そこに自治会未加入者の対応について聞いてみたが、やはり、自治会加入者が最優先であると。入っていない場合は、少し待ってほしいと伝えているようである。

○意見 （上原自治会）

市長が変わって自分の感覚であるが、二つあって、防犯灯のLED化は自治会の経費、維持管理面でも負担が軽減し、大変ありがたいこと。自治会未加入者の話もあったが、自治会に対する助成金も増えていることから、一生懸命自治会活動をしているところの苦勞を分かってくださってのことだと思っている。

私は、自治会、健全育成会、太鼓の世話をしているが、自分は苦勞することが分かっている、望んで入ったものである。それは、自分が子どもの頃に世話になり、地域の方々から育てられた恩返しをしたいという思いからである。地域の子どもたちやその孫にも、楽しい思いをさせてやりたい。そうでないと未来がなくなる。

先程のマンドリンの中止や、住民運動会の検討などあったが、子どもたちは楽しみにしている。高齢者のことも考えつつ、子どもたちのことも考えていかなければならない。

住民運動会については、連合自治会の方でアンケートをとってのことだと思うが、使い方をきちんとしていないと、取ってしまったら、その結果がすべてであると思ってしまう人がいる。そうではなくて論議するうちの資料の一つであると言うのか、何も言わずに取るのでは違うし、アンケートに親が答えるのか、子どもが答えるのかで答えが違ってくると思う。そのあたりのことも考えていかないといけない。

○司会（連合自治会副会長）

今のお話は、こういう行事を今後も続けてほしいということでしょうか。

○回答（上原自治会）

形を変えて、続けてほしいということ。

○回答（連合自治会長）

住民運動会については、まだ、やめると決定した訳ではない。今の自治会の話では、今のまま継続するか、もう少し役員の負担を改善してやるか、それともやめてしまうかの3案で意見を述べていただければと思う。

○質問（高祖自治会）

先程説明があったように将来にわたり人口が減少する問題で、小中学校の子どもが将来どのようになるか心配している。今年の2月議会で大生院校区において、小中一貫教育の研究指定校に申請したと伺っているが、船木校区においてコミュニティ・スクールを将来検討しているかどうか伺いたい。

○回答（教育長）

地域の方が学校のマネジメントに関わっていき、地域が学校を支えていけるようなコミュニティ・スクールをすすめている。今年の3月1日から、垣生小学校、泉川小学校、泉川中学校の3校で動いている。出来れば、あと2年くらいかけて、市内すべての学校が地域の皆さんと学校を支えていけるような学校運営に切り替えていければと、学校側と協議を進めているところである。

大生院は、小学校と中学校が同じエリアにあり、地域の方もできれば6年間と3年間の合計9年間で、子どもを地域で支えていきたいという思いと地元が小中一貫にしていきたいという強い思いが背景にある。現在、事業そのものは、モデル事業という位置づけではないが、地域の皆さんがそういう方向に向けて考えていければと願っている。

それから、小学校の運動会の日程について、校長の中には、秋に運動会を行っているが、春に小学校の運動会を持っていきたいという思いが強い。子どもたちが入学して直ぐに学業を励むのは難しいと思うので、1年生の仲間づくりも含めて、来年度に向けて

自治会の皆さんとも協議をしてすすめていきたいという希望を持っている。

そうなったときに、先程の住民運動会の形態というのも、船木校区であれば、場合によれば、子どもたちと地域がいっしょに運動会をするという方向性も見えてくるのかなと考えている。現在、まだ、検討段階であるが、皆さんの意見を十分に反映させていきたいと考えている。

○司会（連合自治会副会長）

市の重点事業と校区課題への質問等が混在しているが、この際どちらでも良いので質問のある方はどうぞ。

○要望（高祖自治会）

新居浜太鼓祭り市制施行80周年記念イベントの話があり、上部地区で1部、2部と山根グラウンドで行われるが、一つお願いがある。住友各社の取組みも紹介されたように、住友関係の勤務者も多く、祭りの10月16日（月）から18日（水）まですんなりと休暇が取れるかどうかという話もある。うちの太鼓もカキフの確保が大変で、市長の方から住友に対しお祭り時の休暇取得の促進を働きかけていただきたい。

○回答（市長）

大変難しい要望であるが、お祭りについては、新居浜の人は新居浜祭りで、西条の人は西条祭りで休んでもらって、お祭りには大いに参加していただけるように機会があれば私の方からも伝える。

○質問（連合自治会副会長）

防災の関係で救援物資が各自治会や公民館に届けられているが、その数量は、自治会員の人数などで配分されているのか、何が基準となっているのか。

○回答（市民部長）

備蓄物資については、地域に配分できる数がまだまだ少ないことから、地域の人口に見合った配分とはなっていない。ただ、非常用電源など優先度の高いものについては、各校区に一定数配分できている。

今後も、小学校の空き教室などを利用し、整備をすすめていく予定である。

○意見（大久保自治会）

自治会加入者が少ない件だが、世話をする人と、しない人に分かれてしまう。客谷川の草引きを近所の人たちとしているが、誰かがしないと放置地帯になってしまう。電気にしろ、ごみにしろ、誰かがするから綺麗になっている。自治会に加入している、して

いないに関わらず、自分の住んでいる町は自分たちでという感覚を持ってもらいたい。ぜひ、自治会に加入してもらいたい。

○質問（連合自治会副会長）

校区の行事縮小の話が出ているが、船木校区では楽スポに先頭になってやっていただいている。楽スポの方で運営上なにかご意見はないか。

○意見（楽スポ船木）

世話する側からは少ない方が楽ではある。地域に奉仕の精神でやっているのだから、やれることは、これまでどおりやっていく。

○意見（上池田自治会）

廃止した池田池をわたる風とマンドリンコンサートの件だが、これまでの経緯について説明する。池田池で夕涼み的なイベントをと始めたもので、当時は、手作りのステージを作ったりして大変であった。それで、毎年ここでイベントをするからと約束したうえで、市へお願いして立派なステージを作ってもらった。そして10数年間続けてきた。やめるということだが、子どもたちもあそこで演奏できるという楽しみもあった。今後も校区で協議して続けていきたいので、皆さんの協力をお願いしたい。

○質問（客谷団地自治会）

3点聞きたい。回答は直ぐでなくて良い。

- (1) 現在の待機児童数は。
- (2) あかがねの太鼓台入れ替え時、太鼓倉からあかがねミュージアムまで笛、太鼓一切なしで搬入している。太鼓も笛もなければ太鼓台の意味がないので、できるように警察署にお願いしてもらいたい。
- (3) 以前の災害時に、長野地区から土居に抜ける国道11号線が塞がれ孤立したが、トンネルを貫いて孤立しない対策が必要ではないか。

○回答（市長）

2点目の太鼓台移動時の笛、太鼓の件は、既に他の地区からも要望が出てきていて、担当者レベルでは伝えてある。私の方からも申し入れしたい。ただ、祭事以外での公道で運行するのは厳しい。組立も現地で組立という話もあったが、それは許してもらっている。なかなかハードルが高い。今後も協議を続けていく。

○連合自治会長

住民運動会で商品代等のため40万円の寄付を集めている。大変である。苦しい。こ

れは何とかやめるようにしないと次の方に引き継げない。住民運動会をやめると言っているのではない。この寄付集めの仕事はなくしてあげたい。

○意見（関の戸自治会）

住民運動会、長寿会運動があり、特に長寿会運動会が大変である。参加者はほぼ同じメンバーである。これを一つにすれば、景品も少なくなり、寄付金も少なくて済むのではないか。プログラムも考えればうまくできるのではないか。

○回答（連合自治会長）

連合自治会でも一本化の話がでた。寄付する側からの負担軽減にもなる。ただ、長寿会でも入っていない自治会もあることから、その調整も必要である。

○意見（下池田自治会）

最近、今治の話をよく聞き、新居浜より目立っている気がする。スポーツやサイクリングなど今治の話題が多い。中村知事も頻繁にサイクリングイベントに出席するなど、しまなみ海道を観光ポイントとして盛り上げている。新居浜は、マイントピアやマチュピチュなどあるが、中途半端と感じる。

今治と新居浜の違いは、新居浜には若者が少ない。学校は、高専しかない。大学や短大が必要。街に活を入れるには若者誘致が必要ではないか。

○まとめ（市長）

船木校区は市内で一番行事やイベントをたくさんしていると思っている。今日いろいろなご意見をお聞きし、船木校区でもいろいろな思いがあり、素晴らしいことではあるが、続けていくことには大変なご苦労があるということを実感した。それぞれ考え方もあろうかとは思いますが、お金もかからず、人手もかからない良い方法を皆で考えてもらって、続けられるものは続けてもらいたいと考える。

自治会加入率の低下については、全市的な問題であり、活発な船木校区でも低下してきている。大変な問題である。災害時には隣近所で助け合わないと誰も助けてもらえない。自治会加入のメリットをもっとPRして加入率を引き上げていきたいと考える。良い案があれば船木校区から発信していただきたい。

今治に負けていると言われたが、確かに今治は元気がある。新居浜にもHello!NEWの精神で新しいものを取り入れ、若者が元気になる様な街にしていきたいので、ご協力をお願いします。